

科目名	国際法	科目分類	■専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ）
			法律学科 □必修 ■選択
			経済学科 □必修 ■選択
英文表記	International Law	開講年次	法律学科 □1年□2年 ■3年 □4年 経済学科 □1年■2年 □3年 □4年
ふりがな	いしかわ たけいち	開講期間	□前期 □後期 ■通年 □集中
担当者名	石川 竹一	修得単位	4単位
授業のテーマ	国際法とその執行とを理解し、身につける。		
到達目標	国際法を国際社会の共通の利益の確保の為の意思決定の手段と考えて、国家、政府、国際機関及び個人に適用される国際法理論と執行とを理解する。		
授業概要	人権・国家主権・領土・人種・民族・核兵器・軍縮・安全保障・防衛・国際貢献等を理解するために、尖閣・集団的自衛権・慰安婦合意・シリア内戦・北朝鮮核開発・英国EU離脱・コソボ・クリミア・南シナ海人工島・外国船通行・沖ノ鳥島・アイヌ民族・TPPなど、国際法上の諸問題を考察しつつ、現代の国際法と執行にかかわる諸分野を学ぶ。		
授業計画			
第1回	理論と判例、第1章・国際社会と国際法、日清戦争・日英同盟・日露戦争・世界大戦・満州事変・国際連盟・国際連合と国際法	第17回	第9章・陸の国際法
第2回	第2章・国家と国際法	第18回	判例研究：領域・ベナンニジュール国境紛争事件、判例研究：領域・バルマス島事件
第3回	判例研究：国家管轄権・大使館員課税事件、判例研究：国家・旧ユーゴスラビア仲裁委員会	第19回	第10章・海の国際法、
第4回	第3章・国家機関、	第20回	判例研究：海洋・コルフ海峡事件、判例研究：海洋・サイガ島事件
第5回	判例研究：国家・西サハラ事件、判例研究：国家・ベルヌ条約事件	第21回	第11章・空と宇宙の国際法
第6回	第4章・国際組織と国際法	第22回	第12章・人と国際法、判例研究：個人・二風谷ダム事件、
第7回	判例研究：国際組織・国際不審理事会事件	第23回	判例研究：個人・小樽入浴拒否事件、判例研究：個人・チェニスマロッコ国籍法事件
第8回	第5章・国際法の存在形態	第24回	第13章・国際刑事法、第14章・国際経済法、
第9回	判例研究：国際法の法源・ブレアビヘア寺院事件、判例研究：法源・北海大陸棚事件	第25回	判例研究：経済活動・トルコ繊維事件、判例研究：経済活動・エビカメラ事件
第10回	第6章・条約法	第26回	第15章・国際環境法、判例研究：環境保護・トレイル熔鉱所事件
第11回	判例研究：条約・魚業管轄権事件、判例研究：条約・上部サヴォアジェクス自由地帯事件	第27回	第16章・紛争の平和的解決、判例研究：国際紛争処理方式・EC牛肉措置に対する対抗
第12回	第7章・国際法と国内法、	第28回	第17章・武力・経済力の行使と国際法、判例研究：国際裁判手続き・東ティモール事件、
第13回	判例研究：国内法と国際法との関係・ヘーグ陸戦条約損害賠償事件	第29回	判例研究：国際裁判手続き・核兵器使用威嚇合法性事件、第18章・武力紛争・軍備管理の国際法
第14回	第8章・国際法上の責任、	第30回	判例研究：平和と安全の維持・ニカラグア事件、判例研究：武力紛争法・パレスチナ壁事件、
第15回	判例研究：国家責任一般原則・レインボーウォーリア号事件、判例研究：一般原則・ジェノサイド条約適用事件	第31回	判例研究：武力紛争法・中国人慰安婦損害賠償請求事件、判例研究：武力紛争法・ダジッチ事件
第16回	判例研究：国家責任外交的保護・バルセロナトラクション会社事件、判例研究：外交保護・ノッテボーム事件	第32回	定期試験
授業時間外の学習	毎日、必ず新聞の一面を読んでおく、授業前に教科書を読んでおく、確認テストを毎回行う。		
履修条件 受講のルール	私語をしないこと。		
テキスト	国際法（有斐閣アルマ、中谷和弘、2016、第三版）		
参考文献・資料	国際条約集（大沼保昭、有斐閣、2010）、国際法入門（有斐閣アルマ、横田洋三、2009）、国際法判例百選第2版（ジュリスト、No.204）		
成績評価の方法	国際法テキストのサマリーレポート20%、判例研究レポート20%、クイズ30%、試験30%、		

オフィスアワー	毎週木曜日 10時40分～12時10分及び13時～14時30分
成績評価の基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) 出席回数の規定に満たない場合、授業料その他納入金未納の場合は試験を受けることができません。
学生へのメッセージ	公務員志願者には受講を推奨 国際社会を規制する国際法とその執行とを学ぶことで世界の実像が理解できる。